

# LIBRARY



2022年がスタートして早1ヵ月。昨年11月末には感染者があんなに減っていたのに、急上昇。政府による新たな対応策の必要性は急務でしょうが、コロナ禍が2年にも及ぶと、非常事態が日常になってきますよね。だからこそ、大切なことも見えてくるのかも。

『闇祓』 辻村深月著 KADOKAWA 2021



澗のクラスにある白石要という少年が転校してきた。要は、初めて会ったはずの澗を凝視し、担任教師に頼まれて学校を案内する澗にいきなり「家に行っていない？」と声をかけてきた。まるでたちの悪いストーカーにしか思えない其振る舞いに、逃げ込んだ部室にいたのは、かねてより憧れの先輩。おびえる澗に先輩はボディガードをかって出る。ところが物語は思わぬ方向に。ホラー要素たっぷりの最新作。怖い話が苦手な人にはお勧めしませんが、そんな辻村さんも好き…というあなたなら止めません。

『コロナと潜水服』 奥田英朗著 光文社 2020



表題作も含め、5つの短編が収められています。「コロナと潜水服」は、コロナ禍でテレワークになった父親が主人公。彼は5歳の息子の不思議な能力に気づく。息子はコロナウイルスを感知できるのだ。息子の様子から自分がコロナウイルスに感染してしまったことに気づく。部屋に閉じこもり、家族との接触を避けるために、妻に防護服を頼むのだが、なんと見つけてきたのは…。どの作品も、ちょっと「不思議」なテイストが盛り込まれていますが、テーマも重すぎず、きっと奥田ワールドを堪能できますよ。

『答えは風のなか』 重松清著 朝日出版社 2021



「いいヤツ」「おばあちゃんのメモ」「ふるさとツアー」「ぼくらのマスクの夏」「しあわせ」「いちばんきれいな空」等10話の短編が入っています。「いいヤツ」は、サッカーが得意で明るく人気の山本君が隣の席になり、シャー芯をあげたり宿題のノートを見せてあげたり、腹痛を起こした(らしい)山本君の代わりに掃除をしてあげているうち、すっかり“いいヤツ”に祭り上げられてしまったぼくの話だ。どこにでもありそうな日常のモヤモヤを掬いとる。そして「答えはすべて風のなか」とボブ・ディランの言葉を、主人公たちに送る重松さんなのだ。

『100万回死んだねこ』 福井県立図書館 講談社



本屋で見かけたり、誰かが読んでたり、話題になっていたりで、「読みたいな」と思った本のタイトルって、うろ覚えのことが多いですよね。図書館のカウンターにやってくる人には、特にそんな人が多く、司書はまるで探偵のごとく、本当のタイトルを言い当てる人なんです。自館だけでなく、全国の図書館から、面白い“言い間違い”を集めたサイトを立ち上げたのですが、それが近年SNSでも話題となり、いっそ本にしちゃいましょうと、出版の運びに。思わず笑っちゃう勘違いタイトルオンパレード。福井県立図書館 | 覚え違いタイトル集 ([fukui.lg.jp](http://fukui.lg.jp))

『まるごとわかるタマゴ読本』 渡邊乾二著 農文協



みなさんは、卵かけごはんは好きですか？卵を生で食べる習慣がある国は極めて少数。さしみを生で食べる江戸の人たちに、生卵に醤油をかける食べ方が広まっていったらしいです。一般的にはタマゴはサルモネラ菌が心配で、多くの国は過熱して食します。日本は、生産管理システムが世界最高水準のため衛生管理もばっちり！ただ、安全とわかっていても、食べる習慣がない人には、生の卵が美味しいと思えない…食文化ってフシギ。

『ぼくらの感染症サバイバル』 香西豊子著 いろは出版



新型コロナウイルスが、世界中を席捲し出した2020年以降、たくさんの感染症に関する本が出版されていますが、これは中学生にぴったりの本です。100年前のスペイン風邪の教訓はすっかり忘れ去られていたけれど、今こうして歴史を紐解けば、人類はいつもの感染症と対峙してきたことがわかります。庶民に知識もなく、栄養状態も悪かった時代の感染症はもっと悲惨でした。だからこそ教育や貧困の格差を小さくすることは大切です。

『親を頼らないで生きるヒント』 コイケジュンコ 岩波書店



10代は、親から自立したい年頃、親の言葉にイラつくのも、思春期のなせる業だったりします。でも、この本は、我が子を思って口うるさく接してくれる親ではなく、親自身の問題で、親が我が子を気遣う余裕もない、あるいは何らかの理由で親が不在である等、家庭が安全・安心な居場所に感じられない子どもたちに読んでほしいと願って書かれた本です。手に取ってほしい当事者は、こういう本を読んでもくれないかもしれない。だからこそ、誰かが読んで、必要な人にその情報を届けてほしい、そう思います。

『二平方メートルの世界で』 前田海音文 はたこうしろう絵 小学館



この絵本は、「第11回子どもノンフィクション文学賞」を受賞した前田海音さんの作文がもとになっています。二平方メートルとは、脳神経の病気で入院を強いられる海音さんが過ごすベッド空間です。絵本作家のはたさんは、海音さんの想いを多くの人の届けたいと思い、共同制作を引き受けました。病気は苦しい。「その苦しみに耐えられるから選ばれたんだよ」と言われたことがあるけれど、選ばないでくださいと思った…。でも病気と生きていく人生で知ったことを知らないだれかに伝えることはできる。そのことを文字にできるぐらいは元気だ。想いが素晴らしい一冊に！

もし富士山が噴火したら 鎌田浩毅共著 東洋新書



トンガ沖で起きた海底火山の噴火は、世界中を驚かせただけでなく、この地球に何らかの影響を与えそうです。トンガの人たちの救援が第一ですが、火山国日本に住む私たちにも他人事ではありません。この本は、河野先生から、ぜひ図書館に入れてほしいとリクエストされました。東日本大震災の翌年出版されたのは、大きな地震を経験して、いつ何時富士山だって噴火しかねない…という危機感からでしょう。読んでおいて損はない本です。正確な知識は多少なりとも冷静な行動を生み出すはずで。

1月に入った本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

No.	請求	書名 I	著者名 I	出版者	出版年
038096	015H	100万回死んだねこ	福井県立図書館 編著	講談社	2021/10
038098	1000	人生が変わる哲学の教室	小川仁志	KADOKAWA	2014/05
038116	146H	居るのはつらいよ	東畑開人 著	医学書院	2019/02
038126	164W	世界の神話大図鑑	フィリップ・ウィルキンソン	三省堂	2021/02
038127	209H	漫画サピエンス全史	ユヴァル・ノア・ハラリ	河出書房新社	2021/11
038129	210	平安時代大全	山中裕 著	ロングセラーズ	2016/11
030097	210	ビジュアル侍図鑑	大石学 監修	B・マガジン社	2013/02
038130	210S	地図でスッと頭に入る平安時代	繁田信一 監修	昭文社	2021/10
038128	288	天皇(125代)の歴史	山本博文 監修	西東社	2018/12
038111	289D	アメリカの奴隷制を生きる	フレデリック・ダグラス	彩流社	2016/01
038055	2910	大島和典の歩く見る考える沖縄	大島和典	高文研	2021/07
038060	309B	プロテストってなに?	アリス・ハワース=ブース,	青幻舎インターナショナル	2021/09
038058	321K	教室から学ぶ法教育	法教育研究会 編著	現代人文社	2010/03
038059	321K2	教室から学ぶ法教育	法教育研究会 編著	現代人文社	2021/06
038063	3210	法的思考のススメ	尾島史賢	関西大学出版部	2021/10
038108	367K	平安女子の楽しい!生活	川村裕子	岩波書店	2014/05
038123	369Y	つながり続けるこども食堂	湯浅誠 著	中央公論新社	2021/06
038107	369K	親を頼らないで生きるヒント	コイケジュンコ	岩波書店	2021/11
038092	375	マイテーマの探し方	片岡則夫	筑摩書房	2021/11
038110	375K	思考を深める探究学習	桑田てるみ	SLA	2016/10
038125	468S	生態学大図鑑	ジュリア・シュローダー	三省堂	2021/08
038109	491B	人体大全	ビル・ブライソン	新潮社	2021/09
038122	648W	まるごとわかるタマゴ読本	渡邊乾二	農文協	2019/08
038100	809H	自分の〈ことば〉をつくる	細川英雄	ディスカヴァー21	2021/08
038124	814N	「自分らしさ」と日本語	中村桃子	筑摩書房	2021/05
038117	817K	"深読み"の技法	小池陽慈	笠間書院	2021/12
038106	910S	平安ガールフレンズ	酒井順子	KADOKAWA	2021/12
038008	913U	播磨国妖綺譚	上田早夕里	文藝春秋	2021/09
038084	913Ha	ギフト	原田マハ	ポプラ社	2021/01
038113	913A	この素晴らしい世界に祝福を!	暁なつめ	KADOKAWA	2020/05
038089	913Ma	パーマネント神喜劇	万城目学	新潮社	2020/05
038068	913Su	蘇我の娘の古事記	周防柳	角川春樹事務所	2017/02
038088	913Mo	気分上々	森絵都	KADOKAWA	2015/01
038112	913A16	この素晴らしい世界に祝福を!	暁なつめ	KADOKAWA	2019/08
038115	913Ha22	都会(まち)のトム&ソーヤ	はやみねかおる	講談社	2021/07
038070	913Hi	薬屋のひとりごと	日向夏	主婦の友社	2014/09
038085	913Ki	遠い唇	北村薫	KADOKAWA	2019/11
038086	913Ko	タルト・タタンの夢	近藤史恵	東京創元社	2014/04

### 【図書委員会企画】

「黙食中に、憩いのひとときを!」ということで、2学期から図書委員会による「ブックバスケット」を週1~2回実施していますが、いかがでしょうか?図書委員一同、さらなるブラッシュアップを図りたいと思っています。

2022年1月28日(金)の午後、オンラインによる「先輩とおしゃべりしよう!」を初めて実施しました。本来であれば、先輩に来校いただき、図書館でリアルにおしゃべりをしたかったのですが、オンラインにはオンラインの良さが。

こんなことやってます!



73回生 国語科 テーマは図書館!



この日は、国際中等学校司書の渡邊有理子さんが、タイの難民キャンプで図書館くりをされた経験を話された動画を見ました。そのうえでいくつかの課題に挑戦!

75回生 保体 健康新聞づくり



いよいよテーマ決めも大詰め。入試休みがあげたら、2回の発表が待っています。果たして全員が、探究のタネを見つけ、自分なりに掘り進めることができたでしょうか?司書の私は、みなさんの発表を聞くのが楽しみ!

74回生国語 冬休みの読書課題



2年生が選んだ「2022年~〇〇な私に利く一冊~」の授業では冬休みに読んだそれぞれの本の話を共有しました。〇〇に入る言葉は人それぞれ。授業のあとは、展示コーナーにひとことコメントと共に並べていましたが、現在、それぞれの本の読後感をオノマトペにしてもらったので、いくつかのグループ分けをして、2月10日から74回生を対象に始める「本の宅配サービス」につなげます。